



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2020～2021年度 RI会長 ホルガー・クナーケ
RIテーマ ロータリーは機会の扉を開く

クラブテーマ「思いはひとつ」

会長 加藤正幸

副会長 米山晴敏 幹事 服部光弥

第1452回 例会
2020.7.10(金)曇

司会:大庭靖貴君 指揮:
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 加藤正幸君



会長挨拶の内容についてはホットな話題を中心に新聞などメディアからと自分の思いも込めて挨拶をさせていただきます。多方面にわたると思います。

今年度スタートし、すでにカンボジア在日の人達の支援で社会奉仕・国際奉仕・未来3035動き始めて来ています。来週15日にはカンボジア大使館に支援品を届ける予定が来ています。若い人たちの行動力がすごいなど感動しています。「思いはひとつ」で皆で協力して頑張りましょう。

先日も話しましたが、元メンバーの沢田さんと話してうちのクラブは活発ですごくとお褒めの言葉をいただいています。こんなクラブに在籍していることがうれしいかぎりです。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

高嶋孝行さん(服部君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	31/35	88.57%	31/35	88.57%
今回	26/33	78.80%	会員総数	33名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、遠藤君、大村君、篠木君、田中君、中本君、渡邊君
(*出席免除会員の欠席者)

おめでとう

入会記念日 7月4日 石井和郎君

幹事報告

幹事 服部光弥君

◎ 7月第1例会終了後の「理事役員会議」の議事録を週報に記載しておりますので皆様ご確認ください。なお、年初に配布させていただいた「会員手帳」に誤字がございましたので修正テープを配布させていただきます。ご不便おかけし申し訳ございませんが貼付の程、宜しくお願い致します。



委員会方針

クラブ奉仕委員会

委員長 米山晴敏君

今年度、クラブ奉仕委員長を仰せつかりました、一年間宜しくお願いいたします。

世の中、コロナウイルスで混乱しています、皆さんご存知の通り、中でも世間的弱者の子供や生活困窮者が危機的な状況です。こんな時こそ、ロータリーの奉仕活動が必要ではないでしょうか？その為には加藤会長の今年のテーマである『思いはひとつ』と『四つの絆』を各委員会全体で実践しなければならぬと思います。

各委員会と委員長の今年度の目標達成の為にしっかりと下支えをしていくのが私の務めと思っています。

皆さん、ご協力をお願いします。

クラブ研修リーダーにつきましては、パスト会長のみなさんに相談しながら進めていきたいと思っております。

パスト会長のみなさん、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

SAA

大庭靖貴君

SAAでは秩序正しく品性を保ち例会が和やかでありながらも緊張感を忘れることなく、また、有意義な例会になるよう努めてまいります。そのためにも会長・幹事・各委員長、副委員長と連携をはかりながら効率的な運営を行い、会員同士の交流が深まるような会場づくりを心がけます。また、新型コロナウイルス感染者をこの会場から出さないように注意し、会場設営等を工夫しながら運営したいと考えております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

職業奉仕委員会

委員長 大村典央君

今年も職業奉仕委員会単独で実施する奉仕活動はございませんが、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会および未来3035委員会と連携し、職業奉仕と関連のある事業について、協力しておこなっていきたく思います。

また、職業倫理とは個々の職業によって異なりますので、それぞれの職業倫理を理解するためには、それぞれの職業を理解する必要があります。そのため、今年は、親睦の機会に、会員同士で自分の職業を紹介し合うような機会を設けることができると思っています。

クラブ細則検討委員会

委員長 中村 徹君

RI会長の今年度のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。「ロータリーの友7月号」の会長メッセージにありますように、「ウイズコロナの現状はロータリーの会合や例会を新しい方法（ZoomやSkypeなど）で試し、未来のロータリーに向け備えるべき時です。」と述べています。新しい時代に合ったクラブ細則が出来るよう、皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

1、クラブ例会の今後の在り方について

例会の回数や出席について、オンライン（例会・理事会はじめ委員会会議について、会員維持について。

2、会費について。

3、スピード感が求められるクラブの情報・危機管理について。

4、見直されるロータリーの奉仕活動や意義について。

5、緊急事態宣言による深刻な自粛経済、さらに今月に入ってからの中感染の蔓延、会員の職場報告と私たちが出来る支援策について。

社会奉仕委員会

委員長 藤川智徳君

今年度社会奉仕委員長というお話をいただいてから実はずっと考えておりました。一体どんなことをやっていったらいいのだろうか？自分が委員長としてできる事、またクラブ全体としてやっていける活動とは何だろうか？そもそも社会に奉仕するってどういうことだ？

僕は散々悩み、まずは出来そうなことを思いつくままに箇条書きにしてみました。しかし、うーん、色々ありすぎて段々、何が何だか分からなくなってきました。現在、世の中がものすごい速さで進んでいて、ましてやこのコロナ禍において二転三転するような時に、ふと、今年度社会奉仕委員としてあれとこれとそれもありました。とは言えない状況だと思ったのです。

そこで自分は今回、事業計画の内容より先にテーマを提唱し、今この時点で最も必要で急を要しているものから順にやっっていこうと思っています。テーマは『ひとつひとつをちゃんとやる』です。今必要なものから一つ一つやっっていくので小出しみたいな格好になってしまい計画案とは呼べなくなってしまうのですが、どうかご容赦ください。

差し迫って急を要する活動とは、先ほど、加藤会長からご指示をいただきましたカンボジア領事館よりご依頼のあった

日持ち食品の確保を国際奉仕委員会とコラボして広く早急に募っていきたく思っております。具体的にはお米、そうめん、カップラーメン、パスタ等の乾麺・缶詰・お菓子等の腐敗しにくく日持ちする食料品です。そして今回もおたまちゃん食堂の応援という事で、お中元の余りやご使用されていない商品券などがございましたら、是非ともご支援いただきたいです。代表の押田さんに確認したところ具体的には調味料、油、乾麺、お菓子、ジュース、レトルト食品などは大変ありがたいとの事でした。もちろんお米、野菜なども大歓迎です。例えば醤油一本でも缶詰一つでも構いません。ただ出来れば全員参加の勢いでお願いしたいので、一応、自分からご連絡させていただきます、取りにお伺いさせていただくかもしれません。僕からの電話があってもどうか嫌がらないでください。もちろん弊社に持ち込んで頂くことも、次週の例会場にご持参いただいても大丈夫です。

また、今後は募金活動をはじめ他の様々な取り組みも予定しております。クラブの活動として広報していきたい側面もございますので公共イメージ向上委員会さんや未来3035委員会の皆さんにはご協力を合わせてお願いいたします。

最後になりますが、そもそも何故、おたまちゃん食堂をクラブとして応援していくのかまたそれを、どんな気持ちでやっっていくのかという事はとても大切なことです。何か臍に落ちないなとか、みんなの気持ちが揃っていないような活動は非常にもったいない事です。自分は社会奉仕委員長としてまず自分がきちんと勉強し理解して皆さんと理解が共有できるように、活動内容を紐解いていく事も務めだと思っております。

8月28日の社会奉仕の卓話にてそのあたりの内容をお話したいと思っておりますので

どうぞよろしく宜しくお願いいたします。

情報・文献委員会

委員長 小島 真君

メンバーの皆様はロータリーに関わる有益な情報をいち早く正確に伝達致します。

特に新会員の方々へは、ロータリーの知識と理解を深めて頂けるように重点的に情報を伝達するように努めます。

公共イメージ向上委員会 委員長 遠藤修弘君

一般の方々には、クラブの活動を通じた経験、またはロータリーについて見たり聞いたりしたことや写真に基づいてロータリーを認識しています。ロータリーについての関心を深めていただくには、クラブの活動が一般の方々に見えること、聞こえることが必要だと考えます。そのためせせらぎ三島ロータリークラブが行う奉仕活動内容について、共感を呼ぶようなメッセージで発信し、公共イメージ向上に努めていきます。

そのためには、次の内容を意識して、取り組んでいきます。

(1) マイロータリーへの登録者をさらに増やしていく。(ロータリアンとしての意識向上)

(2) マイロータリー内のブランドリソースセンターを利用した(ロータリーを紹介するためのウェブ広告、印刷広告等)共感を呼ぶメッセージでクラブの活動を社会に伝え、公共イメージ向上に努める。

(3) ロータリーと接する人が素晴らしい経験を味わえるようにしていく。

(4) ロータリークラブのイメージをどのように伝えたら良いのか?を会員の皆さんと一緒に考えていく。

以上4項目です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

会員増強・維持委員会 委員長 岡 良森君

現下の厳しい状況下、会員増強という活動は多くの制約の中で行うこととなります。例会開催がままならない中で今大事にしたいことは現会員相互の絆を大切にすることです。各会員の取り巻く環境を思いやり、可能な範囲で助け合い、皆が組織に留まり活動できるようになればと思っています。とはいえ、会員増強はクラブ運営の基本でもあります。近くの推薦可能な方の情報をご提供いただければ幸いです。また、新会員研修も併せて担当することになりました。入会5年以内の方を対象に公的な場と私的な場で仲良くさせていただきます。1年間よろしくお願いいたします。



スマイルボックス

中村徹君:いよいよ加藤年度スタートしましたね。大変な時期ではありますが、ご活躍をご期待申し上げます。コロナもすでに若い人を中心に市中感染が始まっています。例会の在り方について細則検討委員会で検討したいと思っています。その際はぜひご指導のほどよろしくお願いいたします。

高嶋孝行さん:今回、服部先輩のお誘いを受けてお邪魔しています。日本野鳥の会沼津支部の高嶋です。この度自費出版をさせて頂いている折、お報せに上がりました。昨今の新型コロナウイルスの影響により子供たちの自粛支援の一つとしてこの本を通して寄贈は勿論、自然を見直す機会になればと思います。皆さんよろしくお願いいたします!

山本良一君:加藤・服部年度がスタート。第1回目は無事執られました。あと〇〇回です。頑張ってください。

藤川智徳君:本日3年後の自分への手紙の発送作業を皆さんにお願いしたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

石井和郎君:加藤会長・服部幹事、一踏ん張りしてください。協力惜しみません。

服部光弥君:JCの友達の高嶋君が遊びに来てくれました。彼は下香貫でミノテックという会社で農業機械の製作をしています。自分では自費出版で本を出しています。私と同様、すこし宇宙人です。



ROTARY NEWS

今は楽観視するべき時ではないと思われるかもしれませんが、今こそ楽観視するべきなのです。ロータリー創立のずっと前から、人類は進歩と忍耐という能力を試すような重大な危機に見舞われてきました。ロータリーの時代になり、さらに数多くの悲劇に直面してきました。それを乗り越えて人類は今に至っています。そして、ロータリーは常に世界を癒すために尽力してきました。どの危機も、再生と成長の機会なのです。新型コロナ危機が始まったばかりの頃、「ロータリーは機会の扉を開く」という会長テーマをサンディエゴで開催された国際協議会で発表しましたが、これは私が長年にわたって信条としてきた言葉です。

ロータリーは入会したクラブがすべてではなく、そのクラブを通じて機会の扉が開かれます。ほかの人たちや自分自身のために機会を生み出すために私たちは活動しています。小さなことでも、大きなことでも、ロータリーの奉仕行為は助けを必要としている人びとのために機会を生み出します。そして、ロータリーはあらゆる人びとのために、より豊かで、より有意義な人生を、世界中の

RI会長のメッセージ

友とともに中核的価値観に基づいて送るための機会の扉を開くのです。

コロナ禍で誰もが変化に適応せざるを得ませんでした。これはよいことです。ロータリーの新しい行動計画では、適応能力を鍛えるように呼びかけています。しかし、適応するだけでは充分ではありません。この新しい時代の問題に対処し、世界が切実に必要としているロータリーになるためには、私たちは変わらなくてはなりません。それも、劇的に。

それが、今年度だけでなく、今後のロータリーの課題です。理想を実現するための手立てを求めている若い世代の考えやエネルギー、やる気を心から歓迎し、新しい時代に合わせてロータリーを変えていけるかどうかは私たちに掛かっています。これまでの活動をただそのままオンラインに移行するのではなく、デジタル時代に完全に適応した団体にならなくてはなりません。

世界はこれまで以上にロータリーを必要としています。今後何世代にもわたってロータリーが機会の扉を開いていくようにできるかどうかは私たち次第です。